

3D 関西だより

No. 5 2011.1.23

新年おめでとうございます。昨年は3D元年と呼ばれ、それまでマイナーな趣味だと思われていた3Dが一躍時代の花形になり、われわれも大いに気を吐く世の中になってきました。3Dの機器も、テレビ・カメラ・ビデオカメラ・パソコン・携帯・フォトフレームなど多岐に広がり、まさに百花繚乱の感があります。

わが3D関西も、1月例会からエイサーのプロジェクトと液晶シャッターめがねを使ったアクティブ映写で3D作品を鑑賞する環境になりました。問題は3Dのコンテンツで、機器の広がりにくらべて、こちらのほうはまだ供給が少ない状況です。今年は3Dコンテンツを充実させるための企画がいろいろ出されるでしょう。われわれアマチュアにも出番がまわってくるかもしれません。



1月23日の例会

シャープ3D写真・動画コンテスト

昨年12月からシャープは、3D写真と動画のコンテストを行っています。これはたぶん日本で初めての3Dコンテストではないかと思えます。入選した作品は、シャープのスマートフォンの3Dコンテンツとして世界中に無制限に公開されます。言ってみれば、3Dコンテンツの公募といったものです。

締め切りは12月、1月、2月の3回です。すでに12月の部で、3D関西会員の井上・松原両氏が入賞しています。まだ間がありますので、会員の皆さん、奮って応募して、3D関西の存在感を示しましょう。

動画編集講座

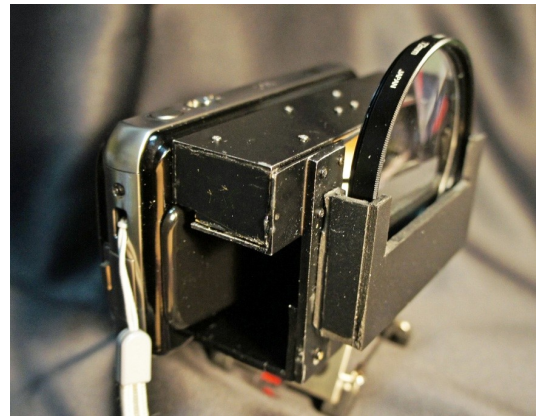
今回の3Dブームは動画が中心で、会員のなかにも動画の編集を覚えたいという人が増えてきました。そんな人のために、井上さん・川越さんが講師になって、動画編集講座が開かれています。会場は神戸の大林さんの写真スタジオで、少人数で何回かに分けて行われます。

W1やW3で簡単に3D動画が撮れますが、これを編集して、タイトルや音楽をつけ、DVDやBDに入れて、3Dテレビで見るということも可能です。また、3D静止面にズームやパンをかけて、動画の効果を出したスライドショーにすることもできます。動画編集講座に参加ご希望の方は、大林さんにご連絡ください。



W1用接写アダプター

野口さんが、Fuji Filmの3DカメラW1用の接写アダプターを製作され、例会で披露されました。W1はステレオベースが77mmあるので、1m以下に接近しての接写は無理で、その場合は2度撮りしなければなりません。昆虫などの動きの速い被写体の接写はできません。このアダプターは、4枚の平面鏡とクロズアップレンズを組み合わせたもので、30cmぐらいまで接近して接写ができます。作り方など、詳細は野口さんにお問い合わせください。



3D関西ホームページアクセス状況

3D関西のホームページのアクセス状況を川越さんにまとめていただきました。昨年のアクセス数は月1300~2200ユニークユーザー数で月400~450です。訪問時間別に見ると、午前9時台が多く、10時台にいったん減少しますが、11時台から18時台までが多く、19時台にいったん減少し、20時台から23時台までが多いといった状況です。この傾向から、現役の人より、リタイアして趣味生活に入った人のほうがたくさんアクセスしていることがうかがえます。

